



平成 18 年 10 月 26 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 統造
(コード番号 6719 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役 望月 晴夫
(TEL 03-5449-7000)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒川 博昭
(コード番号 6702 東証、大証、名証、各市場 1 部)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想につきまして、平成 18 年 7 月 25 日付け「平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況」において発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 (A) (平成 18 年 7 月 25 日発表) | 25,000 | 650 | 580 |
| 今回修正予想 (B) | 25,055 | 711 | 635 |
| 増減額 (B - A) | 55 | 61 | 55 |
| 増減率 | 0.2 | 9.4 | 9.5 |
| 前期 (平成 17 年 9 月中間期) 実績 | 23,604 | 516 | 443 |

2. 平成 19 年 3 月期単独中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 (A) (平成 18 年 7 月 25 日発表) | 21,100 | 250 | 240 |
| 今回修正予想 (B) | 21,858 | 335 | 328 |
| 増減額 (B - A) | 758 | 85 | 88 |
| 増減率 | 3.6 | 34.0 | 36.7 |
| 前期 (平成 17 年 9 月中間期) 実績 | 20,265 | 196 | 189 |

3.平成 19 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 （平成 18 年 7 月 25 日） | 49,500 | 1,350 | 1,200 |
| 今回修正予想（B） | 50,000 | 1,350 | 1,200 |
| 増減額（B - A） | 500 | - | - |
| 増減率 | 1.0 | - | - |
| 前期（平成 18 年 3 月期）実績 | 48,186 | 1,154 | 1,028 |

4. 平成 19 年 3 月期単独通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想 （平成 18 年 7 月 25 日） | 41,500 | 650 | 630 |
| 今回予想予想（B） | 42,000 | 650 | 630 |
| 増減額（B - A） | 500 | - | - |
| 増減率 | 1.2 | - | - |
| 前期（平成 18 年 3 月期）実績 | 41,203 | 594 | 581 |

5.業績予想修正の理由

車載、情報ネットワーク機器向け及び産業機器向けの需要が好調であり、売上高は予想を上回る見込みであります。

損益につきましては、グループ全体において推進している生産革新活動による生産性向上及びコスト低減に加え、為替が予想より円安で推移したことで、単独での経常利益は 335 百万円（前中間期比 70.9%増）、中間純利益は 328 百万円（同 73.5%増）となる見込みであります。

連結業績につきましても、単独業績の増益により、経常利益 711 百万円（前中間会計期間比 37.8%増）、中間純利益 635 百万円（同 43.4%増）となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、売上高の増加を予想しておりますが、為替の動向、市況が不透明等不確定要素もあり、損益は前回発表予想を修正しておりません。

以 上